



平成18年1月17日

こここのえ町

第72号

発行／九重町議会

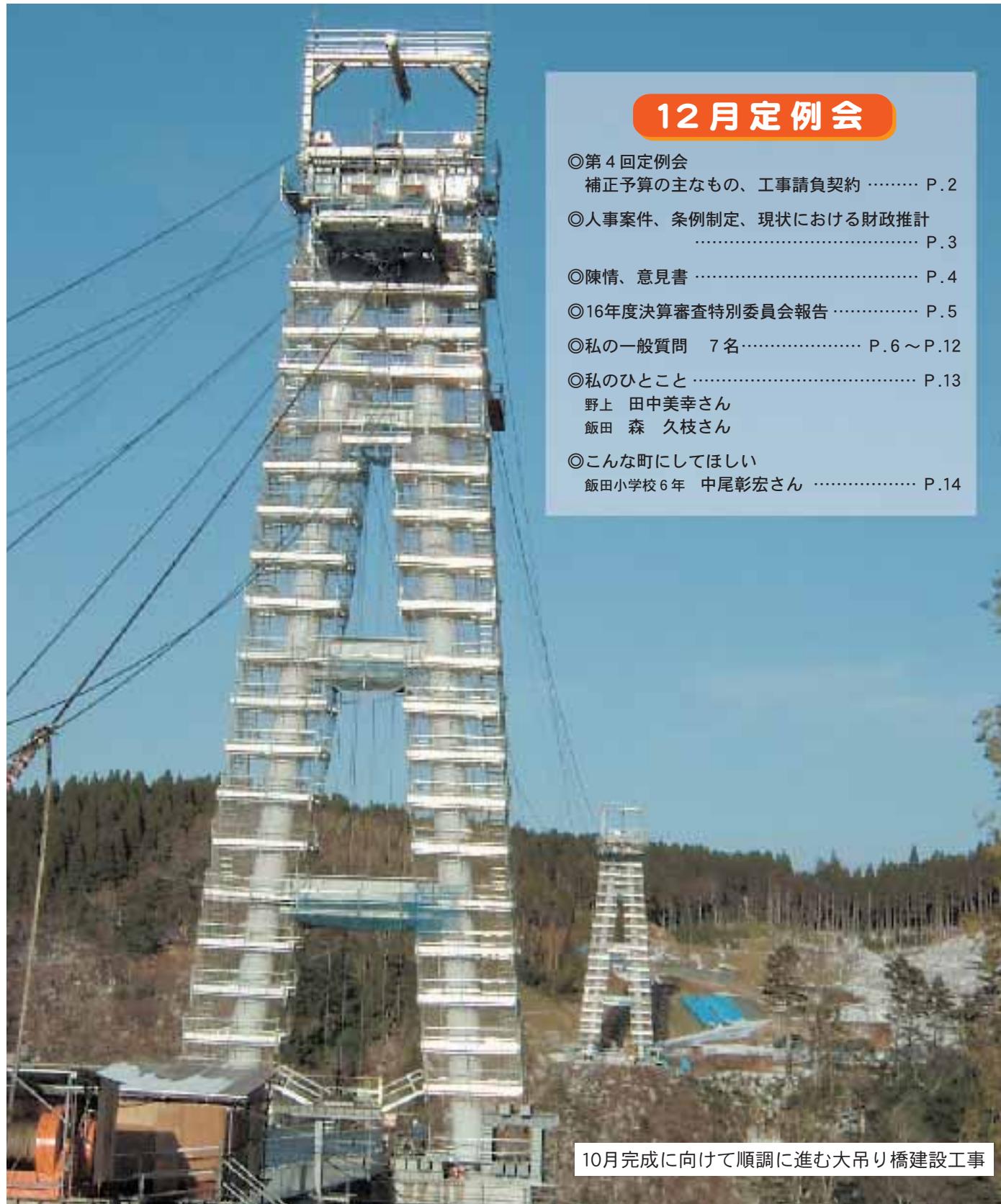
〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集／議会広報編集委員会

印刷／尾花印刷有限会社

議会だより



12月定例会

- ◎第4回定例会
補正予算の主なもの、工事請負契約 P.2
- ◎人事案件、条例制定、現状における財政推計 P.3
- ◎陳情、意見書 P.4
- ◎16年度決算審査特別委員会報告 P.5
- ◎私の一般質問 7名 P.6～P.12
- ◎私のひとこと P.13
野上 田中美幸さん
飯田 森 久枝さん
- ◎こんな町にしてほしい
飯田小学校6年 中尾彰宏さん P.14

平成17年 第4回定例会

12月
定例議会

一般会計 補正予算の主なもの

◎ 農地災害復旧関係

203,750千円

◎ 鳴子川大吊り橋関係

25,000千円

◎ 県工事負担金（飯田高原中村線他）

22,000千円

◎ アスベスト分析委託料

6,027千円

大規模な農地災害

平成17年第4回定例議会は、12月7日から20日まで14日間開催され、議案8件、陳情6件、諮詢1件、発議3件を慎重に審議いたしました。一般会計補正予算は、2億171万2千円を追加し、総額で78億8、974万3千円となりました。

工事請負契約

◎ 契約対象

宝泉寺栗原線B.P整備
工事その1

◎ 契約金額
6,153万円

◎ 契約金額
6,699万円

◎ 契約対象

野上簡易水道災害
河内配水池築造工事

◎ 契約方法
指名競争入札

○契約の相手方
大分市城崎町
(株)安部工業所大分営業所
所長 岡部恭輔

◎ 契約方法
指名競争入札

○契約の相手方
新成建設(株)玖珠支社
支社長 松尾修二



災害を受けた野上簡易水道河内配水池

議会の動き

30日	会	30日	会	28日	来町	28日	来町	25日	会	24日	会	24日	会	23日～24日	会	18日	察来町	17日	察来町	15日	埼玉県児玉郡町村議	10日	愛知県一色町議会視	9日～17日	決算審査特別委員会 共進会(栃木県)	3日～5日	全日本ホルスタイン 共進会(栃木県)
会		日田玖珠議長会研修		日田玖珠広域行政事務組合議会(日田市)		宮崎県綾町議会視察		建設産業常任委員会		本会議(第3回臨時)		全国町村議長大会	(東京都)		玖珠郡老人養護組合		長崎県時津町議会視察		長崎県時津町議会視察		全日本ホルスタイン 共進会(栃木県)						

人権擁護委員

日野一憲氏の
推薦に同意



現人権擁護委員の佐藤恵子氏の任期が、平成18年3月31日で満了となるために同氏を満場一致で推薦に同意。



納税組合存続へ条例制定

「納税組合の設置及び運営に関する条例」を制定

条例制定の理由は「個人情報の保護に関する条例」の施行に伴い、個人の情報を扱う現行の納税組合のあり方が危惧されることから、既存の条例

の見直しを行うもので、新たに納税組合及び組合員の定義を明確にして、規則において「納税組合における納税などの履行に関する同意書」を義務付けることにより、個人情報の適切な取り扱いを確保するもの。

今後5ヶ年の現状における財政推計

●歳入(経常一般財源)の推計

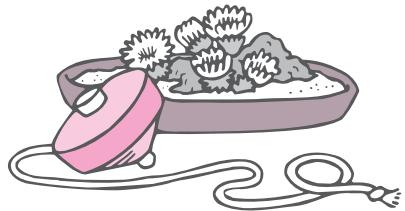
(単位: 億円)

区分／年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
町 税	12.3	12.1	12.0	11.8	11.7	11.5	11.4
地 方 譲 与 税	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
各 種 交 付 金	2.1	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
地 方 交 付 税	18.9	20.0	19.5	18.9	18.4	17.8	17.3
地 方 債	2.9	2.3	1.4	0.1	0.1	0.1	0.1
合 計	37.5	37.8	36.5	34.4	33.8	33.0	32.4

●歳出(経常経費充当一般財源)の推計

(単位: 億円)

区分／年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
人 件 費	13.4	12.8	12.7	13.4	13.1	12.6	11.8
扶 助 費	0.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
公 債 費	2.9	3.1	3.2	2.8	3.0	2.9	3.0
物 件 費	5.2	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
維 持 補 修 費	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
補 助 費 等	5.9	5.8	6.1	6.2	6.3	6.3	6.3
繰 出 金 等	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
合 計	32.0	31.6	32.2	32.6	32.6	32.0	31.3



議会	26日	20日	19日	14日	13日	12日	8日	7日	6日	1日
全員協議会	珠町)	議会広報特別委員会	行政連絡協議会(玖	教育民生常任委員会	建設産業常任委員会	総務財政常任委員会	議会広報特別委員会	本会議(一般質問)	本会議(開会)	小国町行政観察
日田玖珠広域行政事務組合議会(日田市)	日田玖珠郡老人養護組合	議会	議会	議会						
議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会

12月

みなさまの陳情は こうなりました。



陳情

- 野矢小学校 P.T.A.会長 工藤成人氏他1名からの「野矢小学校の教職員の加配を求める陳情」については。

現在検討中の学校再編の中で解消すべきと考えるが、それまでの間、町単費の加配陳情は理解できることから、採択することで意見の一貫性をみました。



加配が望まれる、野矢小学校

- 全日本年金者組合大分県本部執行委員長、角安彦氏からの「改革年金法の実施を中止し、最低保障年金制度の実現を求める国への意見書の提出についての陳情」は。

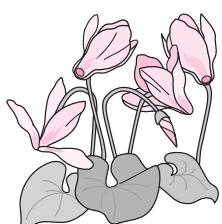
安心して暮らせる年金制度の抜本的な改革が必要であり、陳情の趣旨は理解できる。よって、採択することで意見の一貫性をみました。

- 大分県医療労働組合連合会委員長、大隈勝彦氏からの「看護職員等の大幅な増員を求める陳情」については。

安全な医療の実現のためにには人員配置基準の改善を図る必要があり、陳情の趣旨は理解できることから採択することで意見の一貫性をみました。

- 全日本年金者組合大分県本部執行委員長、角安彦氏からの「定率減税全廃等の増税中止を求める陳情」については。

国内の経済は回復傾向にあり、自主財源の確保も期待でき、今回の定率減税の圧縮・廃止はやむを得ない措置であると判断し、この陳情については不採択としました。



意見書提出

医療改革に関する意見書

- 改革年金法の実施を中止し、最低保障年金制度の実現を求める意見書

- 国の制度としての介護保険の保険料・利用料減免制度創設を求める意見書

- 全日本年金者組合大分県本部執行委員長、角安彦氏からの「医療改革に関する国への意見書の提出についての陳情」は。
医療費制度改革も平行して行わなければ、抜本的な改革に繋がらないところから、陳情の趣旨は理解できるので採択することで意見の一貫性をみました。

決算審査特別委員会審査報告

『国民健康保険 特別会計』

特別会計

前年度より歳入歳出の

規模が大きくなつた要因

は保険給付費が大幅に増

加したためです。

歳 入

歳 出

厳しい社会経済情勢のもと、歳入の基本である町税の減少は危惧されるところです。

一般会計の歳出は、前年度より小さくなつていいが、要因は鳴子川大吊り橋本体工事が15年度で

高齢化が影響しているものと思われます。収入未済額は前年度より増加しているので徴収には格段の努力を望みます。

惠良住宅建設事業は15年度で24棟が完成、木造建築では3階建は建築基準が改正されたばかりで新たな取り組みとして期待されています。16年度も雨対策などに一部変更を加えほど

利用度が一段と進んでいます。16年度1年間でも保険給付費が大幅に増加しています。開始5年目で大幅な制度見直しを行わなければならない状況が大変厳しいことから、

地方交付税など含め削減

『介護保険 特別会計』

在建築中です。全国的に同形で24棟が設計され現

が予想されます。自律の町づくりを推進して行くためにも、事業の精査を十分に行い、最小の投資

傾向にあります。徴収の努力は評価するが、税制度における公平の原則を

原線バイパス整備事業で年度繰越が大きかつたことが挙げられます。

利用度が一段と進んでいます。16年度1年間でも保険給付費が大幅に増加しています。開始5年目で大幅な制度見直しを行わなければならぬ状況が大変厳しいことから、

地方交付税など含め削減が予想されます。自律の町づくりを推進して行くためにも、事業の精査を十分に行い、最小の投資

収入未済額は、年々増加傾向にあります。徴収の努力は評価するが、税制度における公平の原則を

図るためには徴収体制や徴収方法をさらに強化し、不納欠損額等を最小限に抑える対策が望まれます。

比率については、県内では一番低く、県内トップクラスの財政状況を維持しているものの、今後、大型事業も引き続きあることから予断を許さない状況にあります。

利用度が一段と進んでいます。16年度1年間でも保険給付費が大幅に増加しています。開始5年目で大幅な制度見直しを行わなければならぬ状況が大変厳しいことから、

また、町税の収納率が高い水準を維持できているのは、納税組合組織に委ねている点が大きく、

高橋本体工事が15年度で入札したことや、恵良住宅建設事業及び宝泉寺栗原線バイパス整備事業で年度繰越が大きかつたことが挙げられます。

利用度が一段と進んでいます。16年度1年間でも保険給付費が大幅に増加しています。開始5年目で大幅な制度見直しを行わなければならぬ状況が大変厳しいことから、

地方交付税など含め削減が予想されます。自律の町づくりを推進して行くためにも、事業の精査を十分に行い、最小の投資

今後も納税組合組織に期待するところであります。

収入未済額については、

利用度が一段と進んでいます。16年度1年間でも保険給付費が大幅に増加しています。開始5年目で大幅な制度見直しを行わなければならぬ状況が大変厳しいことから、

地方交付税など含め削減が予想されます。自律の町づくりを推進して行くためにも、事業の精査を十分に行い、最小の投資

平成17年第3回定例会において、九重町議会委員会条例第6条の規定によって決算審査特別委員会が設置され、平成16年度一般会計及び特別会計の決算について、11月9日から17日までの5日間にわたり慎重に審査を行い、決算認定に付された平成16年度一般会計・特別会計の議案7件を原案のとおり認定しました。

前年度より増加、不納欠損処理も行われており徴収には引き続き格段の努力をお願いします。

が見え始めているものの、本事業の大きな目的である観光浮揚と地域の活性化に向けて、全線供用化がかかるものであり、全線開通が待たれます。一方では、如何に高補助率の事業であつても、当初計画から工事費が倍増する見込みとなつた現状に強い懸念も感じます。

現地調査

① 恵良住宅建設事業

恵良住宅は15年度で24

棟が完成、木造建築では3階建は建築基準が改正されたばかりで新たな取り組みとして期待されています。16年度も雨対策などに一部変更を加えほど

在建築中です。全国的に同形で24棟が設計され現

が予想されます。自律の町づくりを推進して行くためにも、事業の精査を十分に行い、最小の投資

で最大の効果をあげられるよう切望し、審査結果の報告とします。

② 緊急地方道路整備事業 (宝泉寺・栗原線B-P 整備)

本事業の工区の内、現道の中でも幅員が最も狭かつた1工区が供用開始さ



私の一般質問

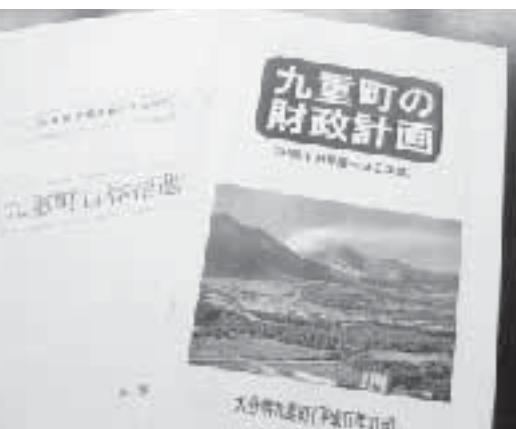
12月8日に7名が質問しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

行政改革は具体性を

町長／順次、進める



佐藤勝憲



自律推進に向け、行革が検討されている

問　自律推進計画は、具体的に書かれていません。
府舎内の管理等は、職員全員が主体的にしたらどうか。

答　職員の時間外手当、又通勤手当など、廃止する方向に考えて頂きたい。出来る事なら数字で表しても良い。又、町長車については、町の顔であり廃止はすべきでない。

グループ制 混乱なく

問　参事制の経過はどうあるか。職員との話し合いが出来ていない。職員が『やる気』をなくす事では、行政に混乱を招く。時間をかけて職員との話し合いの場を作り、納得の上でのグループ制を進められたい。

研修を積む

答　グループ制については、議会の皆さんのが早い視察、勉強に敬意を表す。早急に案を作成し、職員に提示した。未だ研修不足はない、今後研修を積んで行く計画で進行中である。

教育改革は



複式学級解消が望まれる野矢小学校

問　学校統合の考えは、教育委員会で検討委員会を設立していると聞くが、検討委員会の中でのような議論をしているか。早い時期に、統合の方向で考えてもらいたい。遠距離通学費は、全体の子どもから見て廃止すべきと考えるが。

問　町自律推進計画の中で、小・中学校再編を掲げている。児童生徒は減少しており、子どもによりよい環境づくりをする為、学校再編、統合も選択肢の一つと考える。教育は中身が幅広い、全般的に論議はされてきたが、今後財政も含め、革新的な話し合いが進むと思っている。

小・中再編も視野に

小川克己



アスベスト対策は大丈夫か

町長／早急に対応を実施
専門家に分析を依頼

アスベスト使用が判明、新しく取り
替えられた飯田調理場のカマ



- ①アスベスト使用の調査
は。
- ②吹付け等使用が判明し
た場合の対応は。
- ③劣化や建物解体時のア
スベスト飛
散対策は。
- ④アスベスト
による被害
や対策は。

アスベストによる健
康被害が社会問題となっ
ている。燃えない、腐ら
ない等で断熱材等として
大量に建材に利用され
た。吸引すると潜伏期
間が10年から50年程で肺
ガンや中皮種を起こすこ
とがわかり、発病すると
治療法が見つかってない
として恐れられているが、
次の点について伺いたい。

①アスベスト使用の調査
は。

②吹付け等使用が判明し
た場合の対応は。

③劣化や建物解体時のア
スベスト飛
散対策は。

④アスベスト
による被害
や対策は。

アスベストによる健
康被害が社会問題となっ
ている。燃えない、腐ら
ない等で断熱材等として
大量に建材に利用され
た。吸引すると潜伏期
間が10年から50年程で肺
ガンや中皮種を起こすこ
とがわかり、発病すると
治療法が見つかってない
として恐れられているが、
次の点について伺いたい。

①アスベスト使用の調査
は。

②吹付け等使用が判明し
た場合の対応は。

③劣化や建物解体時のア
スベスト飛
散対策は。

④アスベスト
による被害
や対策は。

町内施設で疑わしい
所もあるが、現状では、
ばく露等の危険な所はな
いようである。目視調査
では、保険センターの車
庫の一部、診療所に含有
製品の疑いが、それから
隣保館、農民研修センタ
ーに一部使用が判明、飯
田調理場の回転カマに使
用が判明したので取り替
えた。

今後、早急に25施設82
検体で専門家に分析を依
頼して、使用が判明すれ
ば除去や封じ込み等の対
策を行いたい。

これまで公的機関に限定されて来た公の施設等の管理運営
が民間でもできる様になつた。18年9月までに直営か民営か
決めなければならない。
導入すれば早急に条例改正や公募の手続きが必要になるが、
次の点について伺いたい。

①導入の考え方と今後のスケジュールは。
②導入すれば選定対象は。
③制度上の欠陥をどう補うか。
④指定の透明性の確保は。

指定管理者制度の取組みは

答 18年9月ということで時間的余裕もないが、早急に条例整備等をして3月議会に提案したい。導入の考えは公平性、透明性を重視し、経済性を追求して住民サービスが低下しないよう
にと思っている。選定委員会を設置して公募、審査、議会議決、協定の手順が必要で最低でも1年はかかる。制度上の欠陥
は順次見直しがあると思われるるのでその都度検討したい。



新制度であり早急に対応



指定管理者制度導入予定の温泉館

大石光則



機構改革は意識改革

町長／十分に研修を

【役場組織】

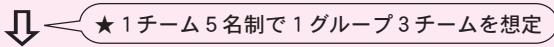
◎時代に対応した簡素で効率的な組織の再編

課・係の統廃合

平成16年度 16課長制

平成17年度 12課長制

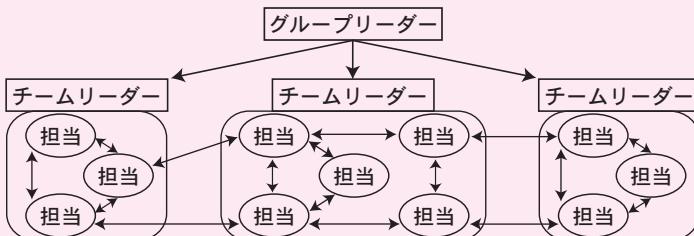
平成18年度以降グループ・チーム制の導入



平成22年度 10グループ（30チーム）制

◎柔軟・機動的な職員配置

・グループ制の導入の検討



グループ制の図示

問 庁内の組織改革として、グループ制の導入について議論されているが、やはり、職員にやる気を起させる方法で進めなくてはならないと思う。そのためには、トップダウン方式の方が、職員の意識の改革ができ、連帯も強まり、苦情もなくなる。

答 職員に、不安や動搖がある事は認識している。職員に、グループ制等の意識を徹底して十分研修を積んで、皆さん方の意見も尊重しながらスタートさせたい。

問 自律していくためのグループ制の導入の良さを認識させ、意識改革をして、取り入れるべきではないのか。

答 まず職員にグループ制の良さを認識させ、意識改革をして、取り入れるべきではないのか。

問 農耕地の災害復旧について、7月10日の大雨14号台風被害による農地や施設の復旧はどうなっているか。激甚被害による補助率はどうなっているか。

復旧にむけて

答 補助対象になるのは1ヶ所当たり40万円を超える箇所である。7月の

災害復旧

豪雨と14号台風で、農地2百34件、施設1百55件、

合計3百89件。査定の終わった物、農地1百23件、施設96件。激甚による補助率、農地93%、施設95%

%である。

自律推進

問 自律していくための推進計画を進めるために不可欠である。改革のた

答 判するが、できるだけそういう事をしなくて、自律の町作りをしようと計画をしてきたので、その方向でやりたい。

なるべく現状で



集中豪雨による農地災害で激甚指定となった農地

坂本憲治



消防OBに支援要請を

町長／自主防災組織で検討

問 今や地球温暖化により災害対策なくして、安全で安心な生活は出来ない状態である。今後台風等の被害は、増加傾向にあると予想されている。

町民の安全と経済活動を維持する為には、災害対策を重要課題に置く必要があると考えられる。

災害時における支援策として消防OBの皆さんへの後方支援体制や農業部門等の災害の反省と教訓今後の防災に対する考え方を伺いたい。

答 行政と住民が一緒になり防災力の強化と災害に強い地域を創る。自助、共助、公助で体制づくりを図る。町民の人命や財産を守る為に現在検討中であるが、自主防災活動の取り組み等、伝達マニュアルや避難支援プラン、國民保護法に基づく保護計画等の策定等努力する。災害時の情報収集や伝達等の的確な体制づくりも強化する。



日々訓練に励む消防団員

農業普及センターは日田市へ

答 九重町では11月に担い手対策の協議会を設置した。今後協議会の中で、早急に町にあつた具体案を作成し、農協の部落常会に案を示し、18年度中には組織出来るよう指導したい。普及センターは、県内6振興局に集中する

人、子ども達に農業に対する教育が必要だと痛感する。今後益々、町の農業保持に対する指導体制の強化が必要と思われるが、後継者及び担い手対策の決意を伺いたい。

事により、高度な専門知識と行動と経営感覚を持つ広域普及員をもつて、ザ・大分のブランド確立を図る。今後は、普及所と連携を強めて、効果的に連携を強めて、効率的な指導体制の確立に努める。

スリットダムが必要

プロ意識の高揚を図る

問（建設） 大規模な山腹

の崩壊により、流木、土石流による被害が大であつた。今後、治山対策、砂防ダム、スリットダム

答（農林） J A等通じ、災害対策は指導している。

の施設の必要性を痛感した。災害時の迂回路の確保、ライフライン等復旧も重要課題である。災害対策をすばやく、的確にする為、県土木や関係機関との連絡体制の確立に向け努力する。



玖珠郡農村青年プロジェクト実績発表

佐藤博美



宝泉寺、栗原線 今後どうする

町長／3工区まで約16億円



工事が進む宝泉寺、栗原線2工区

問 高校は存続出来るか

答 玖珠高と森高は第1次高校再編からは外れたが、今後募集定員の3分の2を2年間割れば、募集停止で廃校になると云う事だが、玖珠郡に高校を残す事は出来るのか。又、今後22年からの高

問 中学校の協力体制を

答 玖珠郡の中学校の卒業生は22年になると200名しかいない。玖珠高

と森高の定員240名を残すための取り組みをどう考えているか。

現在玖珠郡の中学校11校の校長を中心となり、高校との連絡協議会を作りより多くの生徒が地元高校に進学できる様に、1日入学や高校体験をさせ、協力体制を作っている。

問 平成12年に8億円の予算で取り組んだ事業だが、その後、14年に国・県の補助事業に乗せるため設計変更をしたと聞くが、総事業費はいくらになるか、又、最終的に町の一般財源の持ち出しは。

答 2工区までの総事業費が11億3千9百万円で、

3工区は今までの積算で3工区は今までの積算でした時に約5億円程度かかる。町の一般財源の持ち出しについては、補助金が55%あり、その残りは過疎債が借りられ、70%は交付税として戻つてるので一般財源が2億2千万円程度である。

問 非常に補助率の良い事業だと思うが、総事業費が16億円の工事である。14年に設計変更をした時に議会に対し説明すべきではないか。又、今後の方向は。

答 財政状況を見ながら

答 常任委員会では報告をしてきたが、全体的な説明が不足であつた事をお詫びしたい。又、今後の方針としては、まず2工区までは完成させ、それから財政状況を見ながら3工区については決断したい。



存続が心配な玖珠農業高校と森高校

江 藤 一 幸



やる気を削ぐな

町長／不安解消に努める

問 職員は不安・動搖・混乱が渦巻いている。穏やかに導入したらと思うが。
小国町では、チームリーダーも町長が任命し、手当を与えていた。働く者が責任を持つて働ける土壤作りが大事だ。

町長のリーダーシップは大事だが、職員のやる気を削がない、理解を得られるようなグループ制移行になるよう配慮したらどうか。

販売調査研究を

答 職員に不安があることは、事実だと思っている。どのように理解と協力を求めていくかにかかる。共通理解をするための勉強会等で、不安解消に努めていきたく考えている。



モクモクファームレストラン(グループで社員500名、売上約30億円)

問 農産物の販売先を見つけるならどうか。行政が音頭を取り、JAや酪農組合・認定農業

答 新しい売り先は、モクモクファームや船方総合農場・ぶどうの樹等の販売戦略の調査研究の組織を立ち上げたらどうか。

問 グループ制移行で、職員は不安・動搖・混乱が渦巻いている。穏やかに導入したらと思うが。小国町では、チームリーダーも町長が任命し、手当を与えていた。働く者が責任を持つて働ける土壤作りが大事だ。

町長のリーダーシップは大事だが、職員のやる気を削がない、理解を得られるようグループ制移行になるよう配慮した

答 職員に不安があることは、事実だと思っている。どのように理解と協力を求めていくかにかかる。共通理解をするための勉強会等で、不安解消に努めていきたく考えている。

販売調査研究を

井上里子



「住民との協働」を進めるための具体的な取り組みは

町長／住民の自主活動を積極的に支援していく

答 具体的な案として、生涯学習センター、ふれあい生活課等に組織や団体があるので、その中

力を引き出すために、また、町の職員が積極的に地域活動に参加し、地域リーダーの人材育成を支援するために、あるいは、職員が協働のまちづくりをめざすコミュニニケータ機能を担う仕組みづくりのために、具体的にどう取り組んでいくのか。

（案）には3つの柱があり、その柱の1つが「住民と行政の協働で築くまちづくり」である。自律推進計画（案）に、住民との協働の必要性や協働の推進方策等が示されているが、具体的にどう取り組んでいくのかが見えない。

例えば、住民の自治能

力を引き出すために、また、町の職員が積極的に地域活動に参加し、地域リーダーの人材育成を支

援するためには、役場職員が協働のまちづくりを進めたい。そこで役場職員が出来る立派なことを立ち上げを一緒にするということを考えている。

住民との協働を実現するには、町民と行政職員の信頼関係が重要。お互いに頼りにされる関係をつくっていきたい。

役場の職員が住民のために働くという意識改革をしながら、協働のまちづくりを進めていきたい。



指定管理者制度導入対象の文化センター

答 具体的な案として、生涯学習センター、ふれあい生活課等に組織や団体があるので、その中

に、それを盛り込むことを要望する。

（案）には3つの柱があり、その柱の1つが「住民と行政の協働で築くまちづくり」である。自律推進計画（案）に、住民との協働の必要性や協働の推進方策等が示されているが、具体的にどう取り組んでいくのかが見えない。

例えば、住民の自治能

力を引き出すために、また、町の職員が積極的に地域活動に参加し、地域リーダーの人材育成を支

援するためには、役場職員が協働のまちづくりを進めたい。そこで役場職員が出来る立派なことを立ち上げを一緒にするということを考えている。

住民との協働を実現するには、町民と行政職員の信頼関係が重要。お互いに頼りにされる関係をつくっていきたい。

役場の職員が住民のために働くという意識改革をしながら、協働のまちづくりを進めていきたい。

これららの施設の管理者候補の選定にあたって、どういう点に留意しているのか。

また、指定管理者制度創設（二〇〇三年、地方自治法の改正による）の目的は、公共施設の管理運営に民間の能力を活用しながら、利用者へのサービスの向上と、管理運営費の節減を図つていこうとするものであるが、本町の場合、管理運営費の節減はあまり期待できないかもしれないが、施設有効活用や住民サービスの向上につながるような管理者候補の選定を要望する。

指定管理者候補選定の留意点は

答 町では、自律推進計画に上げている施設に、

指定管理者制度を導入しようということで、これから検討していくわけであります。

管理者候補の選定では、価格が安く、サービスの向上が図れることが一番いいけれど、ただ安ければいいということではなく、福祉の向上、住民サービスということに重きを置いて、もしかすると、高いけれどもこちらの方がノウハウを持つているという選定になるかもしれません。

まず、条例をつくって、仕様書を出し、管理候補を募集し、選定委員会にかけるなどいろいろな手順が要る。

まだ制度ができる間がないので、これから勉強しながらやっていきたい。



自然豊かな
この町が大好き

野上（寺庭）
田中 美幸さん



九重町に嫁いで14年、
私は自然豊かなこの町が
大好きです。

今年の春、長女が野矢
小学校に入学しました。
児童数19名で、小さな学
校ですが、子ども達がと
ても素直で、しつかり育
つているなあと感心させ
られました。地域の方々
も、いつも子ども達の事
を温かく見守って下さり、
行事の度に協力して下さ
います。こんな素敵な環
境の中で子育てができる
事を、とても幸せに思
ます。

そんな九重町も「自律
市民も理解を示し、協力
力。町民も理解を示し、協力
する」という事で、まちづくり
のまちづくり」という事
で、大きく変わろうとし
ています。今後、財政が
苦しくなる事は十分承知
していますが、ただ町民
に我慢を強いるのではなく、
その我慢の先に夢や
希望が見えれば、きっと
ます。



小規模校ならではの教育環境が自慢の野矢小学校

新たな『九重丸』 の船出

飯田（奥郷）
森 久枝さん



嫁いでこのかた、子育てに追われ、無我夢中の三十数年でした。子ども達が少しづつ親元から離れていく現実から、ふと自分自身を顧みると、その歳月の長さ、そして、今まで想つた事もない事に気づかされます。

九重町には、自然がいっぱい。そして、その自然の恵みを受けて生計を立て、日々暮らしていま

す。

春・焦土となつた仙水山
夏・青空と緑のじゅうたん
秋・紅にそまる九重連山
冬・真綿色の銀世界

何気なく、朝夕見慣れ
た景色のなんと素晴らしい事。ぜいたくですね。

この美しい景色を次世
の子ども達に残し、受け
継いでもらうのも、私達の役目かもしれませ
ん。

近年、町村合併が日本列島を駆け巡り、大きな話題ともなりました。私は、合併に賛成、反対はわかりません。私達の代表である議員の方々が熟慮の末、討



カスミ草の手入れをする森さん

議され可決されたのです
から。ただ、私に出来る事は進んで協力したいと思っています。

九重町は、合併せずに自律の道を選択されましたが。自律、この言葉は、自分自身にも置き換えられます。合併せず、単独となつた今、沢山の問題が山積され、応分の負担も覚悟しなければなりません。

九重丸の船出は、前途

多難、順風満帆とは言えないでしょうが、町民一人一人が知恵を出し、協力し合えば、きっと素晴らしい、より住み良い九重町になれると思います。

こんな町にしてほしい

トキが暮らせる町に

飯田小学校6年

中尾
彰宏
さん



ぼくは鳥が大好きです。家でもインコを飼っています。子どものインコは、赤ちゃんの時からエサをやつて育てました。

今回、国語でトキのことを調べました。トキが身近な鳥になればいいなと思ったからです。NPOの西村さんの話を聞くと、トキが今にも絶滅しそうにな

議員リレー」 随想

42

昔のようなバランスのとれた自然にするためには、田んぼや畑に農薬を使いすぎないようになります。家から出る生活排水をきれいにしたりすることが必要だと思います。

今トキがいる
中国や佐渡島の
トキが、どのく
らい増えたら、
自然にかえせる
のか、自然の工
サ場はどうする
のか、まだ知り
たいことはたくさんあります。
これからも調べ
て、トキが飯田



トキ大使として佐渡を訪問

いので、ドジョウを飼育して増えたらきれいになつた川に放してト

で、九重町で暮らせる
ように何ができるか考
えていきたいです。

お元気で新年をお迎えの事と思います。昨年は異常気象で大変な年でした。今年は、穏やかな気候で豊年満作・家内安全でありますよう祈ります。

編
集
後
記

井上
里子



子どもたちを
すこやかに

12月の初めの日の午後、自宅の坂道の下の畑で小さな耕運機を動かしていると、畑の前の県道を学校帰りの小学校低学年の男の子が通りかかつた。私の方を見て少しほほえみながら、「雨が降りそうね」と言つた。エンジンを止めて空を見上げると、男の子の向かう方向の

空に灰色の雲が拡がっていた。自然をよく観ている男の子のことばに感心しながら、私は「もうすぐ降るかもしねいね」と言つた。続けて、「おうちはどことたずねると、地区名と姓を教えてくれた。その子のお母さんの顔がその子の顔に重なつた。「あ、お母さんの名

前は〇〇さんね」と言ふと、男の子はとてもいい顔をして「うん」とうなずいて通り過ぎて行つた。男の子とのほんの短い会話で、ほのぼのとした気分になつた。



親や教師だけでなく、地域の大人たちが力を出し合って、子どもたちが安全にすこやかに育つことができるよう、見守りやよい環境づくりに努めなければと改めて思った。

今年10月には、日本一大の大吊り橋が完成。町の命運をかけた一大事業、当初の目的が達成出来るよう、多くのアイデアを頂きたい。よろしく。

この『議会より』は、6名の議員で編集しています。身近な疑問や提案・話題、何でも良いので編集委員まで知らせて下さい。お待ちしています。K・E

少子高齢化、国・地方の財政は危機的状態、役場では、機構改革でグループ制が導入されようとしている。役職員が心を一つにして、少数でも今まで以上多くのサービスが、町民の皆さんに提供出来る体制を築けるかにかかっている。頑張れ！